

[トルクロホスメチル粉剤]

農林水産省登録 第16885号

性 状: 類白色粉末 45 μm以下

毒 性: 普通物

危 険 物: ー

有効年限: 5 年

包 装: 3kg×8袋、10kg×1袋、20kg×1袋

# リゾレックス® 粉剤

有効成分: トルクロホスメチル ……………5.0%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農カサイトに掲載されている本剤の新しい情報がご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

## [適用と使用方法]

作物名	適用病害名	10アール当り 使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
てんさい	苗木枯病 (リゾクトニア菌)	125~250g/10a分 の用土約280ℓ	は種前	本 剤: 1回 トルクロホスメチル: 6回 (育苗土壌への混 和は1回、500倍 希釈灌注は1回、 100倍希釈灌注は 1回、散布は3回)	ペーパーポツ ト用の用土 または覆土に 均一に混和
		75~150g/10a分 の覆土約20ℓ			
		50~100g/10a分 の突起板使用覆土 約7ℓ			
トマト なす きゅうり	50~100g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	土壌混和	
ピーマン			本 剤: 1回 トルクロホスメチル: 4回 (#1)		
うり類 (漬物用)	白絹病	20~40kg	定植前	1回	本 剤: 1回 トルクロホスメチル: 2回 (#2)
ふき					
麦 類	雪腐小粒菌核病	3kg	根雪前	2回	散布
そ ば	立枯病	20kg	は種前	1回	全面土壌混和
ね ぎ	白絹病	20~30kg	土寄せ前 但し、14日前	3回	株元散布
	リゾクトニア葉鞘腐敗病	30kg			
みつば	立枯病	20kg	は種前	本 剤: 1回 トルクロホスメチル: 2回 (#3)	全面土壌混和
みずな	尻腐病	30kg	定植前	1回	土壌混和
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	20~40kg	は種前		全面土壌混和
にんじん	根腐病				
ごぼう	黒あざ病	40kg			
う  ど	白絹病	3g/株	根株養成 畑定植前	本 剤: 1回 トルクロホスメチル: 3回 (#4)	根株粉衣
とうがん	実褐斑病	30kg	45日前	1回	土壌表面散布
ほうれんそう	株腐病	20~40kg	は種前		全面土壌混和
だいおう	苗木枯症	150g/10a分 の突起板使用覆土 約12ℓ	は種前		ペーパーポツ ト用の覆土に 均一に混和

作物名	適用病害名	10アール当たり 使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
チューリップ	葉腐病	10~20kg	植付時	本 剤：1回 トルクロホスメチル：5回	土壌混和
花き類 ・観葉植物	立枯病	50kg	定植前		
スイトピー	腰折病				
シクラメン	苗立枯病 (リゾクトニア菌)				

#1：種子粉衣は1回、は種前の土壌混和及びは種時の土壌灌注は合計1回、株元灌注は2回

#2：定植前の土壌混和は1回、株元灌注は1回

#3：は種前の土壌混和は1回

#4：粉剤は1回、水和剤は2回



### 効果・薬害等の注意

- てんさいの苗立枯病防除に使用する場合、ピシウム菌、アファノマイセス菌、フザリウム菌に起因する苗立枯病には効果が劣るので、これらの菌が優占する圃場での使用はさける。
- 野菜類の苗立枯病防除ではリゾクトニア菌による苗立枯病には有効であるが、他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るのでそれらによる苗立枯病の混発が予想される場合には、他の有効な薬剤と組み合わせて使用する。
- ほうれんそうの株腐病防除に使用する場合、多発生条件では効果がやや劣ることがあるので、所定範囲での多い薬量を土壌混和する。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しない。
- 本薬剤を施設で使用したあと、施設内に臭が残る場合には換気を行う。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにする
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を確認してから使用する。  
なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



### 安全使用上の注意



- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋などを着用する。
- 水産動植物（甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

### 〔品目特性〕

- 有機リン系の殺菌剤です。
- 作用機作は未確認ですが病原菌の運動機能や細胞分裂の制御機能に影響を与えて殺菌効果を発揮すると考えられています。
- 予防的な処理で効果があります。
- リゾクトニア属菌、コルティシウム属菌、ティフラー属菌などに対して効果があります。